

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

事業性質	事業小区分	種別
1 県・委託	1 ものづくり産業	1 ソフト
2 県・補助	2 食産業	2 ハード
3 県・負担金	3 観光産業	
4 県・上記以外	4 地場産業	
5 市町村事業	5 雇用環境の整備	
	6 農林水産業	
	8 子育て・福祉	
	9 防災・危機管理	
	10 環境	
	11 市町村優先の行政システム	
	12 NPO・コミュニティ	
	13 県際・圏域間での連携	
	14 国体・障害者スポーツ大会	
	15 その他圏域の課題解決	

県北広域振興局

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費(円)	推進費(円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	新たな地域の担い手応援事業	経営企画部	441,971	441,971	4 県・上記以外	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	・専門家派遣は、現地視察を踏まえ、地域や協力隊の活動の個別具体的な課題に対する助言を行うことができる事業であるが、今年度は市町村からの派遣申請が少なかった。申請に係る手続きの見直しや、照会の仕方など、より利用してもらうための工夫が必要である。 ・本事業は、次年度以降は広域振興事業として実施することとなるが、地域おこし協力隊や復興支援員等の県北地域への定住・定着を図るため、引き続き、地域の担い手への総合的な支援を行っていく。
2	「御所野遺跡」世界遺産登録機運醸成イベント開催事業	北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録祈念イベント実行委員会	752,524	752,524	3 県・負担金	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	・開催時期や場所の変更により、当初の目標を大幅に上回る参加者数となり、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた機運醸成やPRにつなげることができた。 ・事業は令和元年度で終了となるが、今年度の開催実績を今後の隣接圏域との更なる連携等につなげていく。
3	カシオペアまち・ひとづくり推進事業	経営企画部	2,973,060	2,973,060	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	・カシオペア若者交流事業については、現行の開催形式が5年目となったことから、次年度は新たな開催内容も視野に入れながら、実行委員会を構成する団体等と調整を図る。 ・カシオペア情報発信事業については、二戸地域の多様な情報を発信することで、地域資源の発掘やPRにつなげることができたため、次年度も引き続き放送を通して地域への情報発信を進めていく。 ・カシオペア若者カーリング振興事業については、引き続き「ミライリンク」の活動支援を通じて、近い将来のスポーツ少年団の結成を視野に入れたスクール等の開催、カーリング競技人口の裾野の拡大に取り組んでいく。
4	北いわて・子ども文化スポーツ体験プロジェクト	経営企画部	589,984	589,984	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	・従来から継続実施している文化芸術の体験型イベント及び文化芸術団体の派遣については、児童等からの満足度が高く、毎回好評を博している。 ・また、今年度から本格実施した、プロスポーツ団体(岩手ビッグブルズ、いわてグルージャ盛岡)の派遣については、児童とプロスポーツ選手との交流による競技スポーツの魅力を発信するとともに、児童が体を動かす楽しさを感じる機会の提供を促進した。 ・今後も、市町村、各種文化・スポーツ団体等が連携・協力し、地域全体で将来に向け、文化芸術・スポーツの振興に取り組んでいく。
5	2020東京オリパラ・ホストタウン機運醸成事業	経営企画部	50,000	50,000	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	・東京2020オリンピック・パラリンピックに関する管内市町村との情報交換会や、管内市町村のホストタウンに係る取組を情報発信できた。 ・今後も、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、市町村等関係機関と連携した取組を進めていく。

6	八戸市との文化スポーツ交流・連携推進事業	経営企画部	57,450	57,450	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年7月から「三圏域連携懇談会」(平成28年1月から「北緯40° ナニヤトヤラ連邦」に変更)に参加している久慈・二戸地域と八戸地域の行政組織の連携交流の枠組みを活かし、八戸市と文化・スポーツ両分野での連携事業の企画・立案に向けて協議を進めた。 また、八戸市の取組「南郷アートプロジェクト」の一環である島守ダンス映画製作プロジェクトの視察を行ったほか、10月12日、13日に襲来した台風第19号の影響により取りやめられたが、八戸市での青森県産材フェア「森のめぐみ展vol.9 in はっち&マチニワ」における管内の伝統芸能団体2団体による公演の準備を進めていた。 今後も、引き続き事業を実施し、八戸市との文化・スポーツ両分野での更なる交流・連携に取り組んでいく。
7	鉄道×芸術祭(広域連携「文化芸術」・「地域」の魅力発信事業)	経営企画部	1,111,403	1,111,403	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道を生かした文化芸術による魅力ある地域づくりを進めるため、令和元年度新たに実施した事業である。 大学生等へのワークショップ、鉄道を生かした文化芸術による地域づくり講演会、IGRの貸切車両による沿線文化芸術探訪(ツアー)、二戸駅での文化芸術情報発信イベント(アートステーション)の取組を通じ、本事業に参加したIGR沿線住民等が地域の魅力を発見し、発信することで沿線の文化芸術の振興が図られた。次年度は、本事業を踏まえた地域での取組に期待する。
8	県北妊産婦安心出産支援事業	管内市町村	2,098,540	1,049,270	2 県・補助	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	<p>既に妊産婦に対する交通費支援を実施していた久慈管内の4市町村が現行制度の補助対象を拡充して事業を実施し、二戸管内の4市町村のうち3市町村が新規に事業を開始したことにより、当初想定していた補助対象人数、補助金額とも上回り、多くの妊産婦の負担軽減に繋がった。</p>
9	「障がい者の自立支援」推進事業	保健福祉環境部	291,824	291,824	4 県・上記以外	8 子育て・福祉	1 ソフト	<p>1 障がい者アートの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 久慈地域では、従来から障がい者アートの取組が低調であったが、平成29年度から本事業に取り組んだ結果、年々参加事業所等が増加するなど、関心は高まりつつあり、一定の成果はあげたと思われる。 しかしながら、指標とした「いわて・きららアート・コレクション」等の美術展への出品には至らなかったほか、関心があるが取組に至っていない事業所等が現在取り組んでいる事業所等を上回っている状況であり、取組は緒に就いたばかりである。 今後は、これまでの取組を通じて出た課題解決を図りたい。 <p>2 発達障がい児・者支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修を通じて、徐々に子どもへの理解が進み、子どもとスムーズに関わることができたという保護者・支援者からの報告が聞かれ成果はあったと思われる。 ただ、本研修は、一度に多くの参加を集めて実施する性質のものではないとも感じた。
10	カシオペア連邦環境を守る若手人材育成事業	保健福祉環境部	736,600	736,600	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 環境フェスティバルは、親子で参加することで、家庭で行える環境活動(省エネ、ごみの減量化など)に取組むきっかけとなることから今後も継続していきたい。 また、県境不法投棄に係る出前授業については、事案を伝えるだけでなく、授業を受けた生徒が主体的に参加できるような取組に発展できるよう、内容の充実を図っていきたい。
11	人と動物が共生する社会づくり推進事業	保健福祉環境部	178,983	178,983	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 久慈地域は、犬の捕獲等が多く、返還率が低い地域であり、講習会参加者等の意見を参考に、犬の適正飼養の普及啓発を引き続き図っていく必要があると考えられる。 災害時の同行避難訓練については、2年連続で久慈市における避難訓練の1項目として実施した。他町村における訓練実施についても働きかけ、地域における対策をより推進していく必要があると考えられる。 動物の一時預かりボランティアについては、保健所の動物管理施設において飼養管理が難しい幼齢動物の飼養管理に有効であり、譲渡の取組を継続していきたい。 これらの取組の継続により、久慈地域の動物愛護管理意識の高揚を図っていきたい。

12	持続可能な社会の創り手育成事業	保健福祉環境部	173,567	173,567	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・環境講演会及び意見交換会、水生生物調査指導者研修会、環境業務セミナーともに、アンケート結果が好評であり、普及啓発活動という目標は達成されたと考える。 ・一方で、環境を守り育てる人材の育成という大きな目標に対する成果は、直ぐには現れないものであると考えられることから、今後も継続して取り組むことにより環境保全意識の高揚を図りたい。
13	北いわて「まるっと！さいえね」推進事業	経営企画部	969,334	969,334	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・「北岩手循環共生圏」結成式において目標を大きく上回る308名の参加者を集めることができ、「北岩手循環共生圏」結成式の開催支援という目的を達成できたと考えられる。 ・今後は、横浜市との再生可能エネルギーの供給や物産を通じた交流について、具多的な事業(連携支援)の展開を図りたい。
14	カイゼン導入農業経営力向上支援事業	久慈地方農業農村活性化協議会、二戸地方農林水産振興協議会、公共的団体	607,070	323,403	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・林業分野への導入を支援し、カイゼン導入の品目拡大が図られた。 ・モデル経営体の人材育成及びコスト削減体制の構築について、地域に広く波及させる必要がある。 ・トヨタ自動車(株)が提供する「豊作計画」「現場改善活動」の導入について、経営体においては経費面や、導入後の取組を継続することへの不安がある一方、トヨタ生産方式のノウハウを取得したいとの要望がある。 ・ノウハウを取得する研修会を充実させた事業内容とすうえで事業を継続し、経営効率化の推進を図りたい。
15	二戸畜産産地づくり実践事業	農政部	265,230	265,230	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>(1) 担い手育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 乳用牛担い手育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・乳質改善意欲が高まり、次年度の取組継続を希望する声もあることから、農林水産振興協議会等の予算を活用して、引き続き農家の技術力及び収益性向上に努めていく。 ② 肉用牛担い手育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・同志会など肉用牛振興の担い手育成について、関係市町村と補助事業の創設など具体的な支援方法を検討し、産地力向上を図っていく。 <p>(2) 外部支援組織の強化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実証データ活用により、飼料作物収穫作業の効率的な作業体制の継続に向けた支援を進めていく。
16	雑穀機械化体系導入実証事業	農政部	794,292	794,292	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・雑穀の機械化体系について、育苗や移植の実証、生産者との検討により、機械化体系の方向性を示すことができ、機械化への理解が高まり、若手生産者の機械導入も図られ、産地の機械化体系を進めることができた。
17	地域で育てる農業担い手支援事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会、二戸地方農林水産振興協議会	896,478	346,653	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・県北地域I・Uターン就農機会創出事業では、就農相談会の定期開催や体験研修を活用した相談対応等を通じ、相談者の就農への動機づけを強化することができた。また、関係機関・団体が連携して相談対応する体制づくりを定着させることができた。 ・県北地域元気なシニア農業チャレンジ事業で、シニア世代の新規就農者の経営安定化に向けた営農モデルの実証が実施されたことや、農業経営改善発展支援事業で、モデル経営体の経営規模拡大の加速化に向けた取組が実証されたことで、関係機関・団体による管内農業者へのモデル実証の波及効果が期待できる。 ・今後も、関係機関・団体が連携し、地域における農業の担い手確保・育成に向けた取組を継続的に進めていく。

18	県北地域6次産業化課題解決応援事業	農政部、二戸地方農林水産振興協議会	822,997	752,996	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・産直集荷システムの構築については、今年度は事業を実施できなかったことから、令和2年度事業として継続する(久慈管内のみ)。 ・産直魅力発信については、ホームページと紙媒体を活用してPRを行ったことにより、観光客や県民に対する産直の情報発信力が向上した。 ・産直運営改善サポート事業については、補助対象となった産直施設の販売品目が拡充されたことにより、売り上げが向上したことから、当事業の目標としていた産直施設の販売額向上及び集客増加は達成されたと考えられる。なお、二戸地域では当該成果を地域に波及させる取組を継続するが、本事業については一定の成果が得られたため、今年度で終了とする。 ・6次産業化支援については、課題を明確にした商品開発、商品のブラッシュアップによって取組が促進された。なお、二戸地域では当該成果を地域に波及させる取組を継続するが、本事業については一定の成果が得られたため、今年度で終了とする。
19	園芸労働力確保支援対策事業	農政部、久慈地方農業農村活性化推進協議会	337,262	337,262	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標である「障がい者の農作業就労日数」及び「障がい者受け入れ農家数」については、それぞれの年度で目標を上回ったとともに、最終年度である今年度は、自主的に委託契約を締結し、農福連携に取り組む農家が2戸あり、園芸労働力確保の一助として農福連携が普及してきていることが示された。 ・しかし、普及にあたっては、障がい者が行うことができる作業に限られる等の課題もあり、解決に向けて取り組む必要があることが示唆された。 ・次年度は、①周年作業の検討、②障がい者に合わせた作業手順の見直し、③地域における連携体制の確立の3つの事業を柱とし、農業側だけでなく、福祉側も農福連携に取り組みややすい環境を整え、久慈地域への農福連携の定着を図りたい。
20	寒じめほうれんそう生産・需要拡大事業	農政部、久慈地方農業農村活性化推進協議会	249,253	249,253	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・単収向上技術の実証については、直播栽培より移植時期を10～20日程度遅らせることができ、生存株率及び生育の斉一性の向上が認められた。一方、移植後活着までに時間を要し、初期生育が遅れるため、移植時期を早めるか、生育初期の保温を行う等の対策が必要である。また、薬剤散布等による病虫害防除も必要である。 ・需要拡大については、先進地での販売方法を参考に、限られた数量をいわて生協に安定的に供給することで、機能性表示食品としての寒じめほうれんそうをPRできた。また、いわて生協県内13店舗で同時に販売することで、県内各地へPRすることができた。 ・一方、いわて生協の寒じめほうれんそう取扱数量の約7割が共同購入であり、共同購入が主流の販売方法であることが判明したため、共同購入者へのPRを図りたい。
21	短角牛販路拡大事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会	461,380	461,380	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・短角牛取扱業者に対するPR活動により需要の向上に寄与し、販売額が37,850千円増加し、目標よりも13ポイント上回った。 ・本年度は短角牛取扱業者等の実需者に対してPRを実施したが、次年度は消費者に対するPR活動を展開し、さらなる需要の創出を図りたい。
22	久慈地方山ぶどう販売ステップアップ事業	農政部	358,204	358,204	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・県外卸売業者へのPR等の支援を通して、山ぶどうの生産者や民間事業者に対し、販路拡大に向けた自主的な活動を促すことができた。 ・今後は、山ぶどう生産者や民間事業者に対して助言等の支援を継続していく。
23	きらり輝く“村のお宝”産地化作戦 事業	小国農事実行組合、洋野町山菜栽培研究会、くるみ工房くる美人	426,146	426,146	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業として市町村・関係機関と連携して事業を展開し、研修会では、実需者と生産者、生産者同士の多様な交流が生まれ、補助事業では産地化に向けた生産者グループの自主的な取組につながった。

24	浄法寺漆資源維持造成対策事業	林務部	867,146	867,146	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度育成された漆実生苗木が出荷されることで、従来を大きく超える新たな漆植林の面積が増える見込みとなり、漆資源の増大に繋がる。また、保育管理の技術を新たな担い手に普及することで、現在の漆資源の維持に繋がる。 ・次年度は継続して漆実生苗木の生産技術の普及啓発を行い、漆資源の継続的な拡大に繋げたい。
25	「林業・木材産業」新規就農者確保支援事業	久慈地方「木の仕事」協議会	388,000	194,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者等の林業・木材産業に関する理解を促進することにより、管内の林業・木材産業平成31年4月の新規就業者は、5名となった。 ・今後も、継続して、林業・木材産業の認知度の向上を支援したい。
26	久慈地方原木乾しいたけ振興総合対策事業	久慈地方森林組合	17,332	9,041	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈地方産原木乾しいたけは品質・生産量ともに県内一を誇るため、質を理解し、高価格で取引する場所へ販路拡大をする必要がある。 ・そのためにも、今後は海外に対する取組も考えていかなければならない。 ・また、継続したPRを行い消費者に魅力を伝えるほか、原木供給対策及び流通対策などの課題も含めて検討する必要がある。
27	北いわて木炭販路拡大促進事業	北いわて木炭産業振興協議会	511,104	379,104	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>1 GIを活用した新たな販売方針策定に向けた取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)北いわて木炭産業振興協議会が日本海事検定協会において、木炭の性能評価の実施方法を調査したことを受け、(一社)岩手県木炭協会が令和元年7月にGI基準を満たす「岩手木炭」の性能評価を実施したところ、輸送に対する安全性が証明され、輸出が現実的なものとなった。 2 木炭の作業負担軽減・軽労化実証調査・アシストスーツの使用に係るアンケートを実施したところ、「窯外での原木割り」・「窯内での原木並べ」に有効という感想があった一方で、「窯の出入りには向かない」という回答があった。 ・木炭生産事業者からは、「今後も使用したい。」という回答が得られた。 3 木炭生産の工程改善に向けた基礎調査 ・北いわて木炭産業振興協議会役員会において、測定結果を報告し、それをもとに作業の効率化に係る意見交換を行った。 ・(一社)岩手県木炭協会からは、独自で実施した調査結果があることから、共有し、連携して調査を進めることを依頼された。
28	久慈地域水産物戦略的販売事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	376,164	293,492	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>(1) 戦略的PR販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売促進活動を通じて、県内陸部の消費者に久慈地域の水産物の魅力を知ってもらうことができ認知度向上につながった。また、アンケート等を通じて、消費者が求める情報などこれからの販促活動等の参考となる意見を得られた。 <p>(2) 魚食普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サケの解体や調理実習を行った魚食普及活動は好評であり、子供たちに水産物の栄養や調理方法などについて関心を持ってもらえた。
29	明日の浜人応援事業	水産部	88,763	88,763	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の定置網体験参加者が、定置網への就業を希望し、いわて水産アカデミーに入講するなど、就業へのきっかけ作りとしての漁業体験は有効であると考えられ、久慈東高校の担当教諭からも高評価を得ている。 ・定置網体験参加者は、50代の会社員であり、将来的に漁業就業を希望とのこと。 ・一般人の漁業体験については、管内市町村の広報誌、HPを活用して募集したが、応募が少なかつたことから、市町村の広報機能だけでなく、漁業関係団体の活用も含め、募集方法の見直しを行い、多くの人に漁業体験をしてもらえるよう工夫していく。 ・高校生を対象とした漁業体験は水産関係の職場にある程度就職するなど成果が得られているため、今後も高校や漁協を中心に地域が一体となって取り組む体制を維持していく。

30	餌料対策連携構築事業	水産部	59,990	59,990	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻養殖を実施している漁協から洋野町管内の漁協へ餌料海藻を供給する体制を構築できた。一方で、初年度の供給予定が養殖施設2台分と少なく、今年度の実績等を基に需要側と供給側の意見交換を実施し、横展開により需要を増やすとともに供給の体制づくりをする必要がある。 ・また、給餌の効果についても、かかったコストに対する収益の増加等について精査を行う。
31	漁港泊地高度利用事業	水産部	791,737	791,737	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・魚礁設置場所の選定や放流方法など、有効な魚礁設置に必要な知見が得られた。一部の魚礁で放流した稚ナマコの継続的な魚礁利用が見られたことから、引き続き、既設魚礁のナマコ利用状況等について追跡調査を行う。 ・今年度の試験では設置した魚礁全てに稚ナマコの放流を行ったが、一部の魚礁では、放流した稚ナマコではないと思われるナマコが見られ、天然発生稚仔等の魚礁利用と考えられたことから、魚礁を用いた放流を行わないナマコ増殖についても検討する。
32	さけ種苗生産人材育成事業	水産部	92,152	92,152	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業による海産親魚長距離運搬技術や種卵消毒技術の普及により、サケ不漁によるふ化放流事業への影響を小さく抑えることが出来た。 ・令和2年度のサケの回帰は、平成28年台風第10号被災による放流尾数減少の影響が出る予測されており、県内管内は河川遡上が低調になるおそれがあることから、本事業による技術や経験を踏まえながら、十分な種卵を確保できるよう関係者と協力して取り組んでいく。
33	北いわて食産業振興支援事業	経営企画部、二戸地区広域商工観光推進協議会	3,694,943	3,306,817	2 県・補助	2 食産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・県北圏域の食料品製造出荷額が、平成29年(2017年)では708億円と県全体の18.6%を占め、また、県北圏域の製造業全体の中で、従業者数で48.6%、製造品出荷額で59.1%となっており、地域経済と雇用を支える重要な産業であることを踏まえ、商品開発、生産性向上、販路開拓など、事業者が抱える経営課題に応じた支援を行うとともに、地元商工団体と連携し、意欲ある経営者等の育成を支援することができた。 ・次年度以降も、引き続き、事業者が抱える経営課題に応じてきめ細かな支援を行うとともに、「食べるなら県北産」と消費者から選ばれるよう、鶏肉をはじめとする食肉加工品や新鮮な魚介類を原料とする水産加工品など、県北圏域の優れた農林水産物を活用した商品の認知度向上や販路拡大を目的に、地域内外への情報発信を強化する。
34	北いわてものづくり産業人材育成・連携促進事業	経営企画部	1,204,635	1,204,635	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・8期目となった県北ものづくり改善塾は、塾生が会場企業(九戸精密)の生産性向上に資する提案をしたほか、塾生の主体的な参加により各企業で改善活動の定着が進むなど、県北地域のものづくり企業における社内人材育成に貢献する取組となった。 ・管内高校への教材費の支援は、将来のものづくり人材の育成やものづくり産業への興味向上につながる取組となった。 ・管内ものづくり産業の認知度向上については、管内企業の人材確保等に、効果的な取組となるよう企業ニーズの把握に努め、実施することができた。
35	北いわてアパレル産業支援事業	経営企画部	1,270,983	1,270,983	3 県・負担金	4 地場産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)北いわてアパレル産業振興会の今後の取組の方向性として、生産性の向上と併せて、自社ブランドを立ち上げ、下請け体制から脱却するという方向へ進みつつある。また、より多くの企業との商談・契約をすることで既存の発注企業に依存した経営体制を見直そうという機運もみられる。 ・今後の支援の方法として、商談会での成約件数の向上及び自社ブランド立ち上げのための支援(販路開拓等)を行っていく必要がある。

36	北いわての伝統工芸品魅力発信事業	経営企画部	234,408	234,408	1 県・委託	4 地場産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業の実施により、県北地域の多種多様な伝統工芸品の魅力を地域内外に発信することができたほか、工房見学や特別企画の実施により認知度向上及び理解促進を図ることができたと思われる。 ・今後の取組について、より多くの人に県北地域が誇る伝統工芸品の魅力を知ってもらうため、地域の伝統工芸事業者との連携を強化しながら、オープンファクトリーイベントの実施等を通じた情報発信に取り組んでいく。
37	カシオペア地域資源活用推進事業	二戸地区広域商工観光推進協議会、折爪岳振興協議会	2,180,573	1,777,163	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・体験交流プログラム支援事業については、引き続き体験交流プログラムの新規企画や内容拡充の支援を行い、体験交流プログラムの掘り起こしや磨き上げを図り、観光メニュー化を進めることにより、教育旅行等の誘致につながるよう取り組んでいく。 ・カシオペア魅力情報発信事業については、次年度は隣接する八戸圏域を主なターゲットとする地域情報誌への掲載を図り、更なる交流人口の拡大に取り組んでいく。
38	北いわて国内誘客促進事業	経営企画部	2,333,729	2,333,729	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の目標達成には至らなかったが、県北圏域の特色ある地域資源を活用したイベントの開催や情報発信の実施は、当圏域の認知度を向上につながったと思われる。 ・今後の取組について、2021年にはJR6社と東北6県の連携による「東北デスティネーションキャンペーン」の開催が予定されていることから、管内市町村との連携を図りながら、観光資源の掘り起こしや磨き上げに取り組むとともに、積極的な情報発信及び県北圏域へのより一層の誘客拡大を目指す。
39	北いわて海外誘客促進事業	経営企画部	1,033,900	1,033,900	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・県北地域へのインバウンド誘客に向けて、現地のブロガー招聘やフリーペーパーへの広告掲出を通じた情報発信により、現地における認知度向上を図ることができた。 ・今後の取組について、2021年にはJR6社と東北6県が連携して実施する大型観光キャンペーン「東北デスティネーションキャンペーン」が開催されることから、引き続き、既存の観光資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、受入態勢整備や情報発信に取り組む、更なるインバウンドの誘客拡大を目指す。
40	北いわて人づくり・企業ネットワーク支援事業	経営企画部	312,522	312,522	4 県・上記以外	5 雇用環境の整備	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、産学官及び異業種連携の推進基盤として「北いわて未来づくりネットワーク」が設立された。今後、この基盤により、県北の女性活躍や子育て支援、高い技術、豊かな生活環境等の強みを生かし、“働くなら県北、育てるなら県北、暮らすなら県北”の取組を推進していくもの。 ・また、IoT・AIなど先端技術の導入促進については、令和元年度に県立大学と県北地域の縫製業及び県との協働研究がスタートし、令和2年度においても研究が継続されることとなっている。さらに、記念講演会での紹介をきっかけに、県立大学と福祉事業及び県との協働研究も開始される見込であり、事業の効果が波及している。
41	北いわて「つながり」創造プロジェクト	経営企画部	3,559,078	3,559,078	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・9月号では、2019年度に開催された「三陸防災復興プロジェクト2019」の実施状況を掲載することで、期間終了後も同プロジェクトのレガシーを後世に伝えていくことができた。2月号では、台風第19号の復興情報の掲載による災害等の風化防止に繋げることができ、「紙面として形に残る」という特長を生かした情報発信ができた。 ・三陸鉄道を利用した「震災学習列車」を中心に好評であり、来年度も継続する。より幅広い世代及び県北地域外の住民にも復興への関心を持ってもらえるよう、見学先を工夫するとともに、防災意識の醸成にもつながるような内容にしていきたい。 ・県北地域の魅力を首都圏で発信できる貴重な機会であり、来年度も継続する。県北地域への移住・定住を視野に入れている首都圏在住者はもちろん、東北地方や岩手県への移住・定住を考えている方にもセミナーに参加してもらえるような内容企画と、幅広い広報活動を行っていきたい。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

42	北いわての魅力ぐるっと発信事業	経営企画部	855,068	855,068	3 県・負担金	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	・三陸のご当地グルメの魅力発信は、いわて県民計画2019-2028に掲げた「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」の取組項目のひとつである「食でつながる三陸」の推進に寄与するものであり、令和2年度以降も継続実施する必要性と重要性は高い。
43	久慈・二戸地域「古道と道路史跡とのふれあい」事業	土木部	252,780	252,780	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	・一般道でない道路を歩くため、スタッフの目が行き届かないと危険なので、今回の一般参加人数43名は、規模として妥当であった。 ・リピーターもいることから、次年度も「道の日」に関連するイベントを計画したい。その際には、道路建設・道路維持管理に係る情報発信を実施したい。
44	農林水産業みんなで課題解決促進事業	農政部、林務部、水産部	1,304,737	1,304,737	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	・行動における心理的プロセス・モデル「AIDMA」をベースに、各段階別に情報誌発行やワークショップ開催等を行い、分野を超えて具体的な取組を行う初めての機会となった。また、次年度の「インターンシップの試行」を見据えたベンチマークを実施し、内容検討を行った。 ・次年度も、久慈地域の農林水産業をけん引する担い手と関係機関がさらに連携し、各種の取組を進めることとしたい。
45	“簡単&お手軽”寒じめほうれんそう消費拡大事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会	171,360	171,360	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	・当初の目的である、寒じめほうれんそうの一次加工品は開発できた。また、台風第19号の被害により土砂等が付着し出荷不可能となった寒じめほうれんそうを使用することで、被害を被った生産者を支援することができた。 ・管内飲食店に対する、一次加工品の利用意向アンケート調査の結果、一次加工品を使いたいと回答した店舗が約半数あり、加工品の需要があることが明らかになった。 ・今後は、一次加工品を活用した商品開発に取り組み、更なる需要拡大を図る。
46	三陸鉄道復旧再開支援事業	経営企画部	84,591	84,591	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	・当初の目標を上回るイベントへの参加者を呼び込むことができ、当事業の目的としていた三陸鉄道応援企画ツアー及び三陸鉄道運行再開イベントの支援は達成されたと考える。 ・今後は、令和元年10月の台風第19号被災から復旧した三陸鉄道を応援するため、恒常的な利用につなげるための取組を実施する。
合 計			37,329,247	34,167,985				